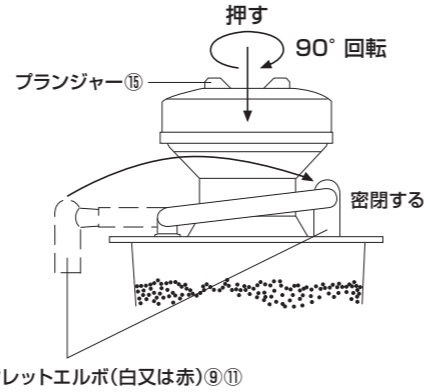


3 吸引が終わったら

吸引源を OFF にして、各々のインレットエルボ⑨⑩をインレット（白）【患者側】⑪に接続して内部を密閉した後、プランジャー⑮を 90° 回転させ、押し込むと凝固剤が落下します。内部が凝固していることを必ず確認し、バッグタイプをキャニスターから取り出し、医療廃棄物として処理してください。（ほとんどの排液は約 1 時間で凝固します。）



- 注意**
- 排出型のバッグタイプに凝固剤ユニットを装着して使用する場合は、バッグタイプをキャニスターから取り出す際や持ち運び際に、凝固剤ユニットのみを持たないでください。凝固剤ユニットからのバッグタイプの脱落や、それに伴う排液漏出の原因になります。
 - バッグタイプ排出型で排液を排出する場合は、バッグタイプ排出型をキャニスターから引き抜いて排液を排出してください。排液が飛散する恐れがありますので、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用し、十分注意して作業を行ってください。

- 使用上の注意**
1. 本製品は専門の教育を受けた者のみが使用すること。
 2. 本製品を使用する前には、必ず表示事項及び取扱説明書を熟読し、その内容を熟知すること。
 3. 本製品を使用目的以外の用途には使用しないこと。
 4. 医療ガス配管設備 JIST 7101 に規定する吸引供給装置以外には接続しないこと [漏圧やその他の配管に接続すると患者、使用者及び装置に損傷を与える、又は性能が変化する可能性がある]。
 5. 使用する流量及び圧力に関しては、術法、対象部位、大きさ、患者の体格と年齢、使用者の経験及び技法を勘案して行うこと。
 6. レギュレータ及び貯溜容器並びに先端具等は、使用前に磨耗や亀裂がないか、又は著しい劣化がないか点検すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
 7. 使用前にレギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。レギュレータ部及び廃液貯溜部並びに各ホースや先端具等を再セットアップした場合も同様に、正常に作動することを確認すること。
 8. 使用中に異常を感じた時は、使用を中止すること [排液の漏れ、又は飛散による周囲環境汚染の恐れがある]。
 9. アルコール等の有機溶媒を吸引しないこと [フローストッパーからの排液漏れや、凝固不良の原因になる]。
 10. 過貯溜防止装置 (フローストッパー) が作動するまで吸引しないこと。
 11. 過貯溜防止装置 (フローストッパー) が作動して吸引が停止した場合、そのまま放置せず速やかに医療配管設備の供給状態を停止し、貯溜容器を交換すること [ボトル又はバッグに高い圧力が負荷され破損の恐れがある]。
 12. 使用後はインレットエルボをインレットに確実に接続し、貯溜容器を密閉すること。
 13. レギュレータの操作において無理な力を掛けないこと。
 14. 吸引圧力の調整に際しては患者側に吸引圧がかからないように吸引チューブを閉塞し、開閉バルブを「OPEN」側にしてから、圧力調整ノブを回して吸引圧を調整すること。
※レギュレータ RG-200 の場合
吸引圧を調整する際、圧力調整ノブの回転ロックを外すこと。
 15. 使用中に圧力調整ノブに接触した場合は使用を一旦中止し、吸引圧を再設定の上、使用すること。
※レギュレータ RG-200 の場合
レギュレータの圧力調整ノブの誤回転防止のため、吸引圧力の調整時以外は圧力調整ノブに回転ロックをかけておくこと。
 16. レギュレータの異常、吸引力の低下、誤吸引においてレギュレータを汚損した場合又はレギュレータに落下などによる衝撃を与えた場合には直ちに使用を中止し、弊社担当者まで連絡すること。
 17. 使用後、持ち運び際にはバッグ、ボトル本体を持つこと [チューブ等を持って運ぶと接続部が外れ容器内の排液が飛散する恐れがある]。
 18. 使用後は院内の「廃棄物処理規定」に従って処理すること。
 19. 使用後に排液を排出する場合 (排出型のみ) は、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用すること [排液が飛散する恐れがある]。
 20. 本製品を採血用吸引器として、絶対に使用しないこと。
 21. 一つの医療ガス配管設備では一つの吸引を行い、ふたまた等の同時使用は絶対に避けること。
 22. 吸引チューブは直接患者に適用せず、必ず先端に適切な先端具を接続して使用すること。
 23. レギュレータ及び貯溜容器を取り替える場合、必ず医療配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
 24. 本製品を設置するときには、次の事項に注意すること。
イ. 水のかからない場所に設置すること。
ロ. 温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
ハ. 傾斜、振動、衝撃 (運搬時を含む) など安定状態に注意すること。
ニ. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 25. 本製品を使用する前に次の事項に注意すること。
イ. レギュレータ及び貯溜容器並びに各チューブや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態等の点検を行い、本製品が正常に作動することを確認すること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 凝固剤及び過貯溜防止装置 (フローストッパー) の水漏れに注意すること。
 26. 本製品の使用後は次の事項に注意すること。
イ. 定められた手順により、開閉バルブ、圧力調整ノブ等を使用前の状態に戻した後、医療ガス配管設備の供給状態を停止し、その後接続を切ること。
ロ. チューブ類の取り外しに際しては、無理な力を掛けないこと。
ハ. 塩素系殺菌剤は注入しないこと [凝固を妨げる恐れがある]。
 27. 本製品が故障したときは、修理専門業者若しくは弊社に依頼すること [不完全な修理は正常な機能や安全の保障ができないため]。
 28. 消耗品は弊社純正品品を使用すること [不完全な部品の交換は正常な機能や安全の保障ができないため]。
 29. 本製品の分解・改造は絶対にしないこと [正常に作動しなくなる恐れがある]。
 30. キャニスターやレギュレータはアルコール等の有機溶媒で清拭しないこと。
 31. 本製品は室温で使用すること。
 32. レギュレータの真空計には衝撃を加えないこと [ガラス面が破損する恐れがある]。
 33. ボトルタイプの排出型 (微量ボトル) はファイナルボトルとしての使用はしないこと。
 34. 貯溜バッグ、貯溜容器を取り出す際は、レギュレータの突出部等に引掛けて落とさないように注意すること。
 35. レギュレータの目盛は正面から読み取ること。
 36. 万一の吸引配管汚染防止のため、配管保護装置 (フローストッパー) を装着すること。吸引が弱くなった場合、配管保護装置を交換すること。
 37. レギュレータを専用架台に取り付ける際は、スパナ 2 本を使用して固定すること。
 38. 貯溜バッグ及び貯溜ボトルの EOG 滅菌やオートクレーブ及びウォッシャー・ステライザーによる熱湯消毒等は避けること。
 39. キャニスター又はチューブ類を滅菌する場合は、EOG 滅菌 (温度 50℃ 以下、湿度 75% RH 以下) 以外は行わないこと。
 40. 貯溜バッグは弱い材質でできているので、開封時の刃物による破損に注意すること。
 41. 貯溜容器に横から衝撃を与えないこと。

一般医療機器 特定保守管理医療機器 / 一般的名称: 真空吸引器 / 医療機器届出番号: 27B1X00013000001 / 販売名: フィットフィックス

フィットフィックス® FFキャスターセットバッグ用 (H・L) 取扱説明書

この度は、FFキャスターセットバッグ用 (H・L) をご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用する際には、必ずこの取扱説明書をお読み頂き、お取り扱いくださいますようお願い致します。

規格

品番	品名	構成
DKI-FF707H	FFキャスターセットバッグ用H	キャスター単体 (H) + キャニスター 2L×4
DKI-FF707L	FFキャスターセットバッグ用L	キャスター単体 (L) + キャニスター 2L×4

■セット内容



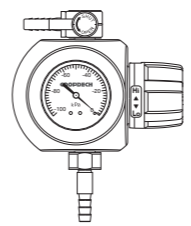
キャスター



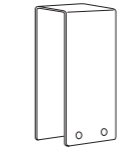
キャニスター
医療機器届出番号: 27B1X00013000001



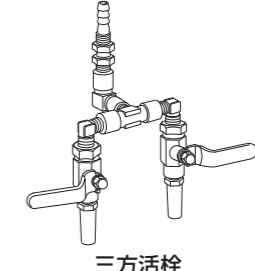
■オプション (別売品)



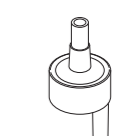
レギュレータ
医療機器届出番号: 27B1X00013000001



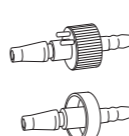
レギュレータ架台




三方活栓



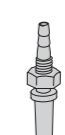
配管保護装置
(フローストッパー)
医療機器届出番号:
27B1X00013000001




配管アダプター




ボール弁付ニップル



樹脂製ニップル (灰色)



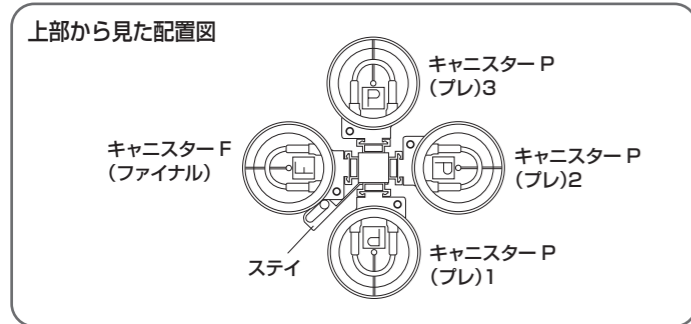
耐圧チューブ



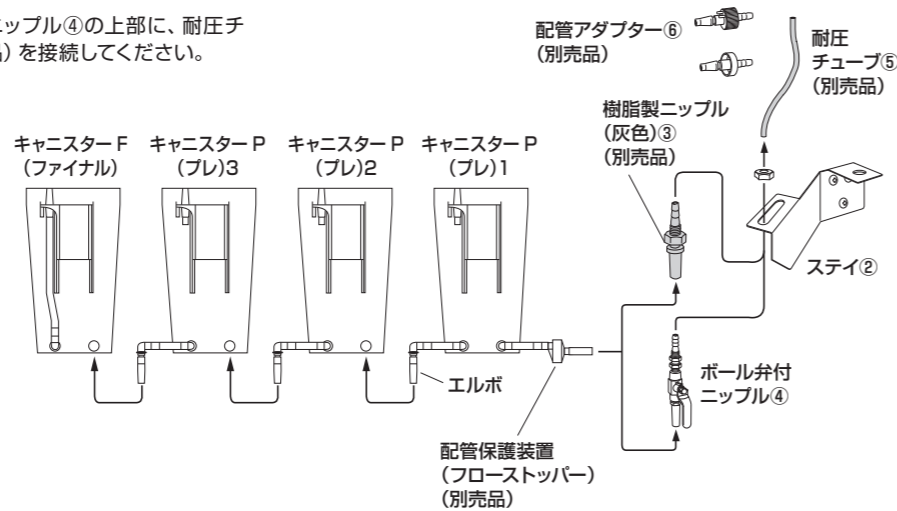
シリコンチューブ

1 組立手順

1. キャニスターをホルダー①の位置へ装着してください。
このとき、上部から見てステイ②の左側にファイナルのキャニスターを装着してください。
(下図参照)



2. ステイ②に、別売の樹脂製ニップル (灰色)③またはボール弁付ニップル④を固定し、キャニスターを右図の様に接続してください。
万一の吸引配管汚染防止のため、配管保護装置 (フローSTOPパー) を装着してください。
樹脂製ニップル (灰色)③またはボール弁付ニップル④の上部に、耐圧チューブ⑤ (別売品) と配管アダプター⑥ (別売品) を接続してください。



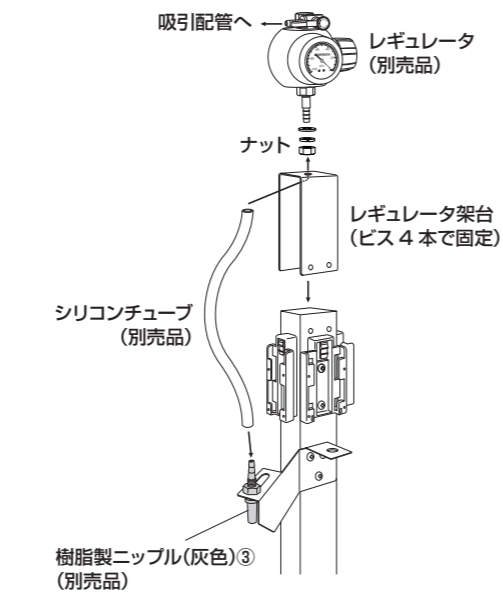
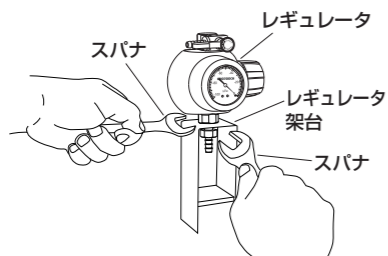
レギュレータ (別売品) を使用する場合

FF キャスター架台セット (別売品) [品番 DK1-FF794K・A] (レギュレータ架台+シリコンチューブ 50cm+配管アダプター) と、レギュレータを図のように使用することで吸引圧を調整することが可能になります。詳しくは最寄りの弊社支店・営業所へお問い合わせください。

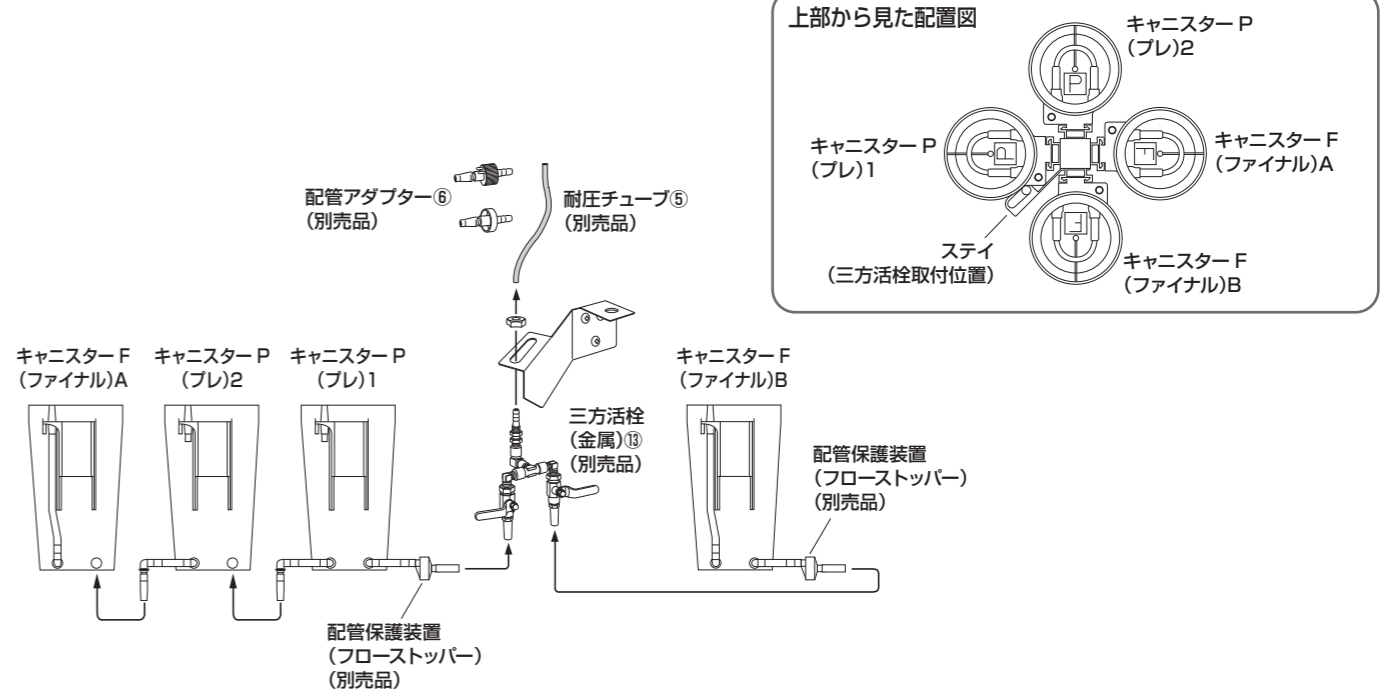
ファイナルのキャニスターを別途用意することで、2方向からの吸引を行うことが可能になります。
次頁に3連結+1本単独吸引の例を図示しますが、詳しくは最寄りの弊社支店・営業所へお問い合わせください。

組立時の注意事項

レギュレータ架台にレギュレータを取り付ける際は、図のようにスパナを2本使用して固定してください。



3連結+1本単独吸引の例



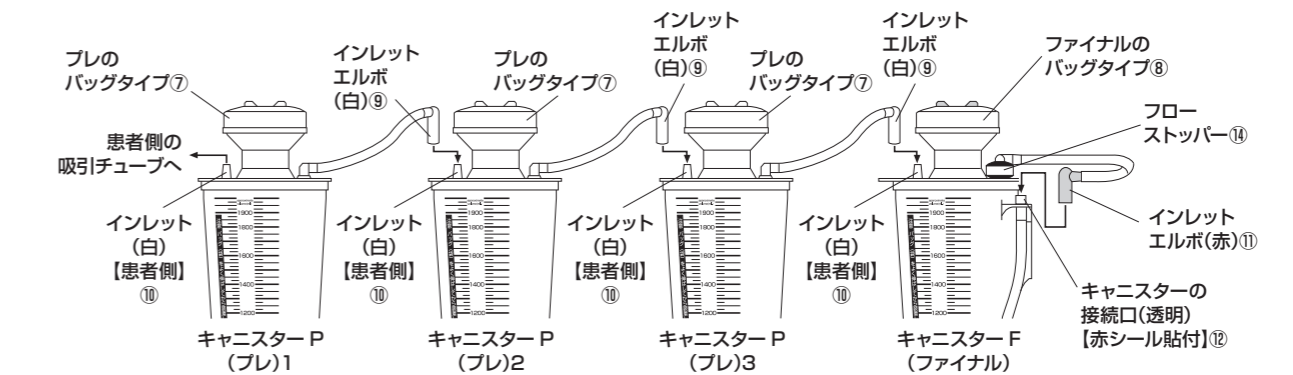
2 吸引操作

バッグタイプを装着します

プレのバッグタイプ⑦はプレのキャニスター (底面にPのシールを貼付)、ファイナルのバッグタイプ⑧はファイナルのキャニスター (底面にFのシールを貼付) に突起部分を外側に向けて入れ、キャニスター内にバッグタイプをしっかり押し込んでください。このとき、バッグタイプが正しく装着されていないと吸引漏れの恐れがあります。

バッグタイプを連結します

バッグタイプ間を図のように、プレのバッグタイプ⑦に付属しているインレットエルボ (白)⑨をインレット (白)【患者側】⑩に接続して連結してください。ファイナルのバッグタイプ⑧のインレットエルボ (赤) ⑪はキャニスターの接続口 (透明)【赤シール貼付】⑫に接続してください。



※図は凝固剤ユニットとの一体型ですが、排出型でも連結は同様です。

注意

- 患者側の吸引チューブをファイナルのキャニスターの接続口 (透明)【赤シール貼付】⑫へ直接差し込まないようにしてください。誤接続によるレギュレータの汚染や吸引配管の詰まりの原因になります。
- 吸引量が一杯になるとフローSTOPパーが動き、自動的に吸引がストップしますが、ファイナルのキャニスターの一番上の目盛まで吸引しないよう注意してください。万一フローSTOPパー⑭まで吸引した場合、排液が逆流する恐れがありますので、患者側吸引チューブをクランプしてから、次頁の処理を行ってください。
- アルコール等の有機溶媒を吸引しないでください。フローSTOPパー⑭からの排液漏れや、凝固不良の原因になります。

注意

- 使用しないキャニスターにもバッグを装着しておいてください。
- 必ずPの表示のキャニスターにはプレのバッグタイプ⑦を、Fの表示のキャニスターにはファイナルのバッグタイプ⑧を装着してください。P・Fを間違えると、吸引配管、フィットフィックスレギュレータの汚損、詰まり、故障等の原因になります。
- バッグタイプをキャニスターに装着するときは、インレットエルボ (白)⑨または赤⑪をインレット (白)【患者側】⑩から外し、バッグをしっかり伸ばしてからキャニスターに装着してください。